

図書だより

7月号
2007.6.29

北九州市立広徳小学校
校長 守田 孝子
図書ボランティア 岩川 智子

今月は5年2組担任の土居先生より、読書についてお話し頂きましたので、ご紹介します。



「わたしと本」

わたしの父は読書家というか、家庭の事情で望むだけの学問ができなかった代わりに本を読むことで知識を深めていったこともあって、物心ついた頃には私の周りには本があふれていました。子ども部屋は書庫を兼ねて三方に本棚があり、様々なジャンルの本が詰まっていた。幼い頃に読んだ絵本の記憶はあまりなくて、心に残っているのは、今や名前もあまり聞かれなくなった「ひろすけ童話」シリーズのような気がします。

小学校高学年から中学生の頃には、夏目漱石などの小説を読みふけたこともありましたが、ことわざや四字熟語、慣用句など「言葉」に関する本のほうが雑学を楽しみながら読めて、今でも身につけている様に思います。

わが子には、やはり読書が一番と小さい頃から本を読むことを薦めていましたが、本を読むのが好きか外で体を動かすのが好きかは本人の性格に関係しているかもしれません。(外遊びが好きだった子の方は大人の今になって国語力で苦労しているところがなきにしもあらずですが…)

私自身、大人になってからも生活の中から本は手放せませんが、悲しいことに最近、根気がなくなって、何ページも読み進められなくなったり、ストーリーが分からなくなったりで一冊読み終わるのに何日もかかるようになりました。(そのためかどうか、私の今一番の愛読書は、「趣味の園芸」「マイガーデン」「ビズ」などガーデニングの本です。)

しかしながら読書は、本によって自分の知らない世界を垣間見ることができるとともに、思わぬ発見をしたり、人生の支えになるものに出会えたりと、いくつになってもわくわくします。



(5-2担任 土居 京子)

うれしいお知らせ

6月1日付、校長先生のブログ『広徳小学校校日記』より…

今朝は、こんなすてきなことがありました。

ランドセルを背負った二人の兄弟が、何か紙切れをもってくるのでどうしたのかなあと見ていると、お兄ちゃんが1年生の弟に「ここに入れるんだよ」と、5月の読書カードを箱に入れるのを教えているんです。のぞいてみると、たくさん色が塗られていました。兄弟そろってお家での読書がされているんでしょうね。うれしかったです。 <http://www.kita9.ed.jp/koutoku-e/blognplus/>

6月に読み聞かせを行った本

6月8日(金) [参加児童数:約50名]

- ①みんなうち (五味 太郎 / 作・絵)
- ②かみさまからのおくりもの (樋口 通子 / 作・絵)
- ③タンゲくん (片山 健 / 作・絵)
- ④ひこいちどんのかさやさん【紙芝居】(水谷 章三 / 脚本、小川 陽 / 画)

6月22日(金) [参加児童数:約70名]

- ①クワガタどこどこ(しろま せいゆう / 作・絵)
- ②あつさのせい? (スズキコージ / 作)
- ③太陽はどこからでるの【紙芝居】(チョン・ヒエウ / 作)
- ④うちのパパってかっいいい(アンソニー・ブラウン / 作・絵、久山 太一 / 訳)

提出してもらった5月の読書カレンダーの集計を行いました。1年生は初めてであったにもかかわらず、約7割もの子ども達が提出してくれていて、読書カレンダーを活用してもらっていることを嬉しく思いました。

5月の読書カレンダーで皆さんに考えてもらっていた、図書ボランティアのグループ名。「てんとう虫」や「かえる」、「アンモナイト」や「ブックマン」等、実に色々な名前が上がっていましたが、その中から『よんでライオン』に決定しました!

色塗りをした6月の読書カレンダーは、7月10日までに職員室前の回収ボックスに入れるか、担任の先生に提出するようお子様に伝えて下さい。また、名前の記入漏れがないか確認をお願いします。

7月の読書カレンダーも本日、配布しました。家庭での“10分間読書”の取り組みに、是非ご活用下さい。

来月の読み聞かせは…

7月6日(金)、13日(金) 昼休み(13:20~)
1棟(職員室側)2F 学校図書館

保護者の方で興味のある方は、是非お越し下さい。

★★ 今月のおすすめ絵本 ★★

今月のテーマは
“自然・科学”です。

低学年(1,2年生)

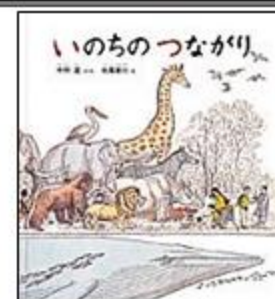


◎第23回選定「よい絵本」
☆この本は学校図書館にあります。

わたしたちが見る世界は、ふだんは地面の上に限られています。この絵本には、動物や植物が、地面の上と下をうまく使い分けて生活している様子が、単純明快に描かれています。土の中で根っこはどういう風に伸びているの?どんな動物が暮らしているの?そんな好奇心に答えてくれる作品。

『じめんのうえとじめんのした』
アーマE・ウェバー / 作・絵
藤江 濤子 / 訳
福音館書店 定価 945円

中学年(3,4年生)



☆この本は学校図書館
にあります。

動物はなぜ動き回るのか、植物はなぜじっとしているのか、その細胞の成り立ちや子孫の残しかた、大昔から現代までどのように生物が増えてきたかをていねいに説明してくれます。卵の中でひなが成長していく様子、犬のおなかの中で赤ちゃんが成長する様子、花から種ができるまで…。「遺伝子が親の性質を子に伝える」ということをやさしく解説してくれる絵本です。

『いのちのつながり』
中村 運 / 作
佐藤 直行 / 絵
評論社 定価 1,365円

高学年(5,6年生)



◎第23回選定「よい絵本」
☆この本は学校図書館にあります。

雑草の世界を5年にわたって見つめ続けてきた著者が描く、ドラマに満ちた科学絵本。春の小さな柔らかい緑、夏の森林のような群生、秋の盛大な実り、冬の雪に立ち尽くす枯れ草。し烈な生存競争を繰り広げて、空き地はダイナミックに変わっていきます。雑草が生えた空き地なんて、退屈で汚いだけ…。そんな先入観をひっくりかえす、雑草たちのエネルギーあふれる真実の世界です。

『雑草のくらし あき地の五年間』
甲斐 信枝 / 文・絵
福音館書店 定価 2,415円

図書だよりが広徳小学校のホームページに掲載されています。是非、カラー版もご覧下さい。
http://www.kita9.ed.jp/koutoku-e/2007_tosyo/index/2007_tosyo.index.htm